

福祉わくや

2017.11
第124号

おらほのふれあいレポ

3区

「いきいきサロン」

社協職員による脳力アップ倶楽部、カラオケ、会食会という内容で実施しました。

食事のメニューは18穀米、ピーマンの肉詰め、さやいんげん佃煮風、おからの煮物、冷汁、ミルクゼリー、果物で、1人当たりのエネルギーが723kcal、塩分3gになるように計算されていました。

また、3区在住の方からカラオケ装置の寄贈を受け、はじめて皆で「カラオケ」をやってみました。今までに無かった満面の笑いで大変盛り上がりました。

支えあおう



PICK UP!

- 福祉作文・福祉ポスター・福祉標語コンクール入賞作品 2～5ページ
- おらほのふれあいレポ 8～9ページ～地域で行われている活動を紹介～
- PICK UP 社協事業 6～7ページ生活支援体制整備事業「協議体」、町民福祉研修会「高齢期の健康格差を考える」、福祉学習出前講座 等
- ゆうらいふ通信 10～11ページ～各施設・事業所の活動を紹介～
- 社協インフォメーション 12ページ宮城いきいき学園学園生募集 等

学びあおう

支えあおう

通じあおう



涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等



・福祉標語コンクール入賞作品

一 作文の部

最優秀賞

「偏見のない世の中へ」



涌谷中学校 2年
ななみ 南さん
しほや 渋谷

私の曾祖母は認知症で施設に入っています。私が会いに行っても名前はもちろん私のことが分かりません。それに何度も同じことを言ってしまう。病気になるてしまい、こんな姿になてしまった曾祖母のことを「かわいそう」と私はつい思ってしまう。私のことを覚えていなかったという悲しさ、もう私の知っている曾祖母ではなくたという辛さで私の心は押しつぶされそうになりました。

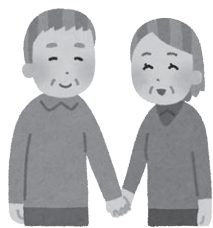
そうした思いをもった中、今年の五月に職場体験がありました。最初に職場先を決める際、体験したい職場と連絡がつかず、「ゆうらいふ」という介護施設に行くことになりました。最初私は不安でした。曾祖母と同じ認知症の方々と上手く接することはできるだろうか。何度も同じことを言われたら上手に対応できるだろうか。そんなことばかり考えていました。

そんな不安を抱えて迎えた職場体験一日目。私たちは認知症のある利用者の方々と交流しました。やっぱり何度も同じことを言ってきたり、私たちに比べると自分でやれることも少ないです。けれど、介護士の方々は認知症だからといって全てをやてあげるのではなくて、やれることは全て自分でやるようにし、そのサポートを行っていました。私は最初、認知症の方々のことを手助けすることが仕事だと思っていました。そして、認知症になった人はいかにそうで不幸だと決めつけていました。でも実際に職業を体験してみて、認知症の方々をそうした目で見ながら接してはいけないと思いました。確かに、認知症の方々は何回も同じことを言ったり、自分たちよりはやれることが少なくなっているかもしれませんが、しかし、今自分でできることを精一杯行っています。また、歌や体操を行なっている時の利用者さんはずっと笑顔でした。認知症という病気をもっているけれども、みんな今を一生懸命生きているのです。「かわいそう」と思ってた接するよりも、「一緒に笑顔で「今」を過ごすことが大切なのではないか」と気付かされました。

私は今まで認知症、障害者と聞くと、私たちよりもできることが少ないから不幸だとか、かわ

いそうだとか思ってしまうことが多かった。私のようにそう思っている人は少なくないと思います。でも、実際は病気をもっていたり、体の一部が不自由なだけで自分たちと同じように精一杯日々の生活を送っているだけだということなんです。自分たちより不幸だ、自分たちとは違うのだといった偏見をなくし、そういう考えを変えなければいけないと思います。そうしたら、少しでも接し方が変わってくるのかなと思います。

今度、曾祖母に会いに行く時は私のことを覚えていなくても、笑顔でたくさんはなせるようにしたいです。だって、不幸やかわいそうと思っても曾祖母は嬉しくないと思うから。私が笑顔で接すれば曾祖母も笑顔で返してくれるはず。そして私のことが分らなくても私が曾祖母を好きだという気持ちはきっと伝わっていると思います。私はこれからたくさん笑顔を幸せな生活を送られるような社会にしていきたいです。そのために相手のことを決めつけたり偏見をもったりせず、誰とでも笑顔で接していきたいと思っています。



優秀賞

「父から学んだ福祉」



涌谷中学校 3年
ほなみ 穂波さん
しば 柴

私の父は、高齢者施設に勤めており、昨年までは主に高齢者関係の仕事を担当していました。施設に入所されている高齢者の方が体調を崩した時に、一緒に病院まで連れて行つて診察を受けさせてあげることも父の仕事のひとつでした。お年寄り突然体調を崩すことも多く、夜中に施設から電話がかかってくる突然病院に行くことになったり、休みの日に仕事になったりすることもあったため、私はいつの間にか高齢者に関わる仕事に嫌悪感を抱くようになりました。

ところが、ある時、私の考えを変えてくれる出来事がありました。それは、本当にささいなこと。母に頼まれて、父の職場まで書類を取りに行ったときのこと。父が笑顔で施設のおばあさんと話している姿を初めてみました。車いすに座っているおばあさんの前で、しゃがみこんで体を低くし、楽しそうに話をしてい

平成29年度 福祉作文・福祉ポスター

しました。大変な思いをして仕事をしていると思ったのに、とても生き生きとして楽しそうに笑顔で仕事をしている姿をみて驚きました。確かに、思い返してみると、父が家の中で仕事の文句を言っている姿を私は見たことがありません。

私は仕事から帰って来た父に、何が楽しくて笑っていたのか聞いてみました。

「お年寄り、目の高さを合わせてゆつくりお話ししたり聞いてあげたりすると、笑顔になつてくれるんだよ。これまでの人生でいろいろな経験をしているから、こちらが勉強になることも沢山あるし。笑顔で毎日過してもらえることが、今の仕事をしていて一番嬉しいことだよ。」と話してくれました。

父の話を聞いていて、私は「めんこばあちゃん」のことを思い出しました。私が小さいころ、近所に「めんこいなあ」というのが口癖の一人暮らしのおばあちゃんがありました。わたしは「めんこばあちゃん」と呼んでいました。当時90歳くらいの年齢だったように思います。私は、このめんこばあちゃんにとっても可愛がつてもらいました。おやつにサツマイモを油で揚げてくれて一緒に食べたこと。冬にこたつで一緒にお昼寝したこと。家の中を一緒に探検して歩いたこと。今でも良く覚えています。めんこばあちゃんも、私が

顔を見ながら話をするといつも笑顔でいてくれました。私もその笑顔が嬉しくて、毎日遊びにいったように思います。九十歳で小さい子どもの子守りは大変だっただろうと中学生になった今の私には分りますが、「めんこ、めんこ」といながら笑顔で話を聞いてくれました。

めんこばあちゃんは、私が大きくなるにつれ、いろんなことをすぐに忘れてしまうようになりまして。成長していく私とは反対に、少しずつ体のいろいろなところが不自由になつていきました。怒りっぽくなつていくときもありましたが、私が行くといつも笑顔でいてくれました。たとえ何度同じ話をされるようになって、私はおばあちゃんが好きでしたし、おばあちゃんには笑顔でいてほしいと思いました。めんこばあちゃんは私が小学生の時に亡くなつてしまいましたが、もつと何か返してあげられたら良かったのにと、今でも思います。

高齢者社会と呼ばれる現代。これまで子供やお年寄りの手助けをしながら年を重ねてきた高齢者の方が、笑顔で穏やかに生活できる世の中であつてほしいと思います。

今の私には何ができるのでしょうか。父のように優しい気持ちで接すること。元気に挨拶をする。電車やバスで自分からさげなく「どうぞ。」と言える

ようになること。まずは、当たり前のことを自然に行えるようにしていきたいです。

めんこばあちゃんには返せませんでした。その分を今、誰かのためにと思うのです。

優良賞

「やさしさ」



涌谷中学校 3年
後藤 悠希 さん

あの日、何故か朝早く起きた。父が出勤する時間だった。

「地震雲がでてたから気をつけなさいよ。」

そう一言だけはなち、いつものように家をでていった。いつもとは何かが違う感じた。そして父に会いたくなつた。

いつものように学校に行き、友達と遊び、勉強をした。そして父の三言を忘れていた。学校が終わり、車で家に帰る途中、地震が起きた。自分と祖母は車の中で何が起きたのか全く分からずパニックになつていた。その時外から声が聞こえた。

「地震だ、車から降りろ、転がるぞ。」

近所のおじいさんだった。揺れがすごく歩くのも大変なのに、近くまで来てくれたのだ。揺れが少しおさまり、おじいさんに頭をさげ急いで家に帰った。家はガラスが割れ、悲惨な状態だったのを生々しく覚えていた。何とか家に入り、食べ物を持って車に入った。流石に家にいるのは危険で、何も考えられなくなつていた。そこに母が帰って来た。

何もできないまま、しばらくして夜が来た。光もなく真っ暗だった。だが近所の人たちが食べ物を持ってきてくれた。全ての人が大変な中なのにとってもありがたかったと今ではそう思う。その日は車で寝ることになった。車のテレビで津波を知った。そして父の一言とその日、父は女川に居ることを思い出した。テレビに映っているのは女川の海だ。その時自分の目から急に涙がこぼれた。頭が真っ白になり、そのまま寝てしまった。

次の日、ガソリンを買いに行つた。ほぼ半日ならんでいたが、五台ほど前で売り切れになつてしまった。しかし、前の方にならんでいた知り合いの人がタンクでガソリンを買つていて二つゆずつてくれた。母はとても感謝していた。ならんでいる間、父の携帯に何度も電話をかけるがつかならなかった。

震災から三日目、公民館に給水をしに行つた。公民館には多くの人が避難していた。そこでおに

ぎりと豚汁をいただいた。ゆつくりとかみしめていた時、誰かが後ろに立っていた。母と祖母は涙を流していた。

「ただいま。」

それは父の声だった。笑顔だった。自分たちは声がでず、出るのは涙だけだった。

これは後から父に聞いた話だが、津波がくる前、丘に逃げ、津波にはのまれずにすんだそう。波が引いた後すぐに家へ帰るため歩き出したそう。周りには多くの死体が転がっていたが、進みづつある人には自転車を買っていた。ある人には甘いチョコレートを買った。消防車に乗せてもらったりしたそう。父は最後にこう言った。

「多くの優しさに出会った。」

地震が起き、パニックに全員がなったことだと思う。だがしかし、その中でも他の人のためにという人間の本当のやさしさがよく伝わり、優しさの大切さがよく分った。

父の話聞き、苦しい中で人間からでる優しさは偽りでなく本当の優しさだと思い自分が本当の優しさを持てる人間となれるよう、日々の生活や、人に対する態度を見返してみようと思いました。

今ある「命」は、もしかしたら偶然いただいたものかもしれない。その偶然に感謝して現実には甘えず生活すべきなのだと思うた。

自分にできることを人のために生かすような生き方をめざしてみたい。

優良賞

「弟の介護を通して」



涌谷中学校 1年
おかわ しげみち
大川 茂道さん

僕には、弟がいます。弟は小さい頃に病気にかかり、話すことができなくなっていました。手足の自由もきかなくなり、車いすに乗ることになってしまったため、僕たち家族が介護することになりました。はじめは、めんどろと思うこともありましたが、毎日介護をするということが、当たり前のように思えてきました。そして、弟の介護が僕の日課となり、だんだん楽しくなっていました。

具体的な介護の内容というのは、移動する時に通路を作り車いすを押すことや、父が出張でない時のお風呂の介助です。また、薬を整理しておき、発作が起きた時にヨーグルトに混ぜて飲ませる用意もあります。夜寝る時には、絵本を読んであげるとい

う日もありました。

介護の中で大変だったことはたくさんありますが、その中でも車いすを動かすことには苦労しました。弟の乗っていた車いすは、とても車輪が大きく重いのです。さらにブレーキまでついていて、大きな石を引っ張りながら歩き回っているように感じていました。旅行に出かける時も、弟を車いすから降ろしてベランダまで運び、そこから案内に入るといことがほとんどです。車に乗せるのも降ろすのも大仕事で父と母と僕の三人で力を合わせていました。そのような車いすを毎日押すというのは、本当に大変でした。

しかし大変な介護ではありませんでしたが、その中には、人の役に立てて嬉しいという気持ちもあります。自分ができていることをして、人に喜ばれるというのは、本当に嬉しいものです。また、弟との思い出もたくさんできました。弟の付き添いで、リハビリの教室へ行ったことがありました。そこはとても広く、病室というよりも、リハビリ室と言った方が良いでしょう。とても快適な部屋で、弟と一緒に本を読んだりおもちゃで遊んだり楽しかったです。また、昔は弟と同じ部屋で寝ていたのが、僕が弟に「アンパンマン」の本を読んであげたことも覚えています。その時弟はとても喜んでくれ、僕はそれ以上に嬉しかったです。改めて、人に何

かしてあげることの嬉しさを感じました。

現代は、若者よりも高齢者が増えています。このままでは、高齢者を介護する若者が減ってしまうのです。僕は弟の介護を通して大変さを感じましたが、高齢者となればさらに大変だと思っています。しかし、現在様々なロボットが開発され、今後多くの場で活躍すると思います。ダンスをするロボットやサッカーをするロボット、車や自転車のような乗り物型のロボットなど、今も進化し続けています。もちろん、人を介護するロボットもいます。将来、「ドラえもん」や「鉄腕アトム」のように、人間とロボットが一緒に暮らせる世の中になると思います。そうすれば、このまま若者が減っていくとも高齢者が困ることはないでしょう。

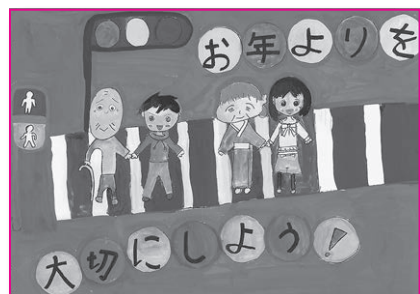
しかしながら、若者が増えて高齢者の介護ができる方が良いと思います。もちろん、高齢者のことだけでなく、僕の弟のように介護を必要とする人がいます。介護から多くのことを学びました。それと同時に人のために何かをすることで、自分自身も嬉しくなることがあります。一人暮らしで困っている高齢者や介護についての理解が進み、人と人が助け合って生活できる社会になってほしいです。

一 ポスターの部 一



最優秀賞

籠岳白山小学校 6年
この 桜咲さん
金野 ほのか



優良賞

月将館小学校 6年
わか やま あい な
若山 愛奈さん

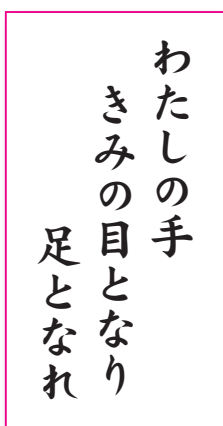


優秀賞

涌谷第一小学校 4年
いし づか あい か
石塚 愛翔さん



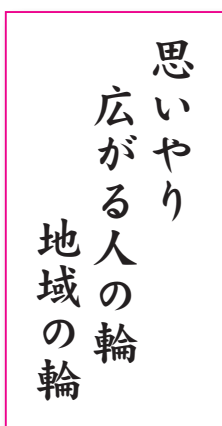
一 標語の部 一



優良賞



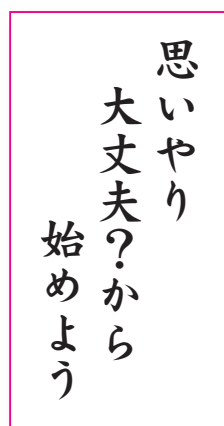
涌谷第一小学校 4年
た はら みちる
田原 迪琉さん



優秀賞



涌谷中学校 2年
き むら たけ のり
木村 剛工さん



最優秀賞



籠岳白山小学校 3年
お やま れん
小山 蓮さん

地域の支援体制の充実・強化を目指して！

「第1回わくや地域まるごと会議開催！」 9月29日
（生活支援体制整備事業「協議体」設置・運営）



今年度より涌谷町から生活支援体制整備事業の委託を受け、生活支援コーディネーターの配置並びに協議体の設置、運営に関する業務を開始しています。

高齢者をはじめ、町民が住みなれた地域で安心して暮らし続けるために必要な生活支援・介護予防サービスの充実と、高齢者の社会参加に向けて、地域における支え合いの体制づくりを推進する事業です。

「ごと会議」とし、地域住民や福祉関係機関はもちろん、協同組合や一般企業など多くの団体・組織（構成員27名）に参画していただきました。これにより、地域資源の把握・開発などを通して支援体制の充実・強化を図ることを目的としたネットワーク会議を立ち上げることができました。

今回は、協議体についての研修と「居場所（サロン等）」、「見守り（ネットワーク等）」、「生活支援（ゴミ出し、買い物等）」の3テーマについてグループワークを行いました。それぞれのテーマについて、「考えていること（悩み・気づき）」や「実施していること」、「自分（所属する団体・組織）で出来そうなこと」を出し合い、情報共有を図りました。



あったかい心と支え合いの心を「食」で作ろう！

「町民福祉研修会「高齢期の健康格差を考える」」 10月31日

本研修会は、「簡単・バランスのとれた食事が地域に広まること」、「貧困などが原因の健康格差を地域の支え合いで改善すること」を目的に開催しました。

「元気高齢者の簡単、バランス料理」をテーマに、80歳一人暮らし男性が簡単に作れる料理を地域から出品いただき、審査・表彰を行いました。



続く講演では、大崎市を拠点に県全域で活動している、NPO法人ハッピー大崎理事長の千島優子氏から、「高齢期の健康格差を考える」食は楽しみ・元気をつくる・支え合いの心をつくる」と題し、お話をいただきました。

□を使って食事をする事で、「健康な体」ができ、「楽しみ」や「やる気」が生まれ、出され、「あったかい心」と「支え合いの心」が作り出されるといったお話があり、食を通して、健康の維持や地域の支え合いの大切さを再認識する機会となりました。



福祉学習 出前講座

学校や地域で「福祉学習を行いたい」と考えている方は、気軽にご相談ください。

町内の小・中・高等学校を対象に、福祉学習の一環として、社協の地域福祉課職員や介護の専門職、そして、障がいの当事者、ボランティアの方々などが講師となり、福祉学習出前講座を行っています。講座をきっかけに、福祉に関心を持っていただき、若い芽が大きく育つことを応援しています。

涌谷高等学校



介護保険制度やボランティア活動、認知症等について講座や演習、実技を交え、計10回にわたり福祉学習を実施しました。



涌谷中学校

点字について学習したり、町内で活躍しているボランティアグループの活動を体験し、その目的や意義を学ぶ機会としました。

講座は、計7回にわたり実施しました。



福祉団体トピック

涌谷町ボランティアの会

【目的】

会員の親睦と、ボランティアグループの連携や情報交換を行い、地域社会の福祉の向上を目指しています。

【主な活動】

城山公園清掃、春・秋の花植え、ぼらんていあ祭り、ボランティアだより発行、移動交流会、行政等から依頼のあったボランティア活動

※年間行事や会員加入等に関する質問は、下記までお問い合わせください。

問合せ ☎ 43-6661 (担当：地域福祉課)



おらほのふれあいレポ



1 区

「敬老茶話会」

支えあおう



9月15日(金)

準備役員の確保がむずかしく開催できるのかなあと不安でしたが、健康推進員をはじめ役員ではない方の協力も多数いただき、無事終わることができました。

今年は開催時間を短くし、憩っていただくことを主旨としてDVD映像を観賞しながら地区の方とのおしゃべりを楽しんでいただきました。

「敬老お祝い会」

支えあおう



9月15日(金)

町主催に参加できた人とできなかった人達と共に楽しく過ごしてもらうことができました。

テーブルにバラを飾り、食事、飲物で1時間半。最高年齢者(95才)のしっかりしたお話、地域の方々の協力、民謡で盛り上がりました。

なかなか顔を合わす事が出来ない人達の笑顔が見れてホッとした気持ちになりました。



2の1区

「敬老お茶会」

支えあおう



9月15日(金)

今年は福祉推進員がお世話役の番で2週間前から準備に入りました。

涌谷町の敬老会終了後、八雲集会所に皆さんお集まり頂き、自治会長のあいさつ、交友会会長の乾杯で食事会が始まり、お祝いのちらし寿司をおいしく頂きました。

その後カラオケが始まり、途中、福祉推進員一同による踊りを披露しました。参加者の皆さんには大いに受けたようです。

社協から借りたスティックカーリングも遊んで頂き、最後は全員で記念写真を撮り解散しました。帰りにとても楽しかったよと皆さんから声をかけて頂き推進員一同笑顔でした。



八雲区

「敬老お祝い会」

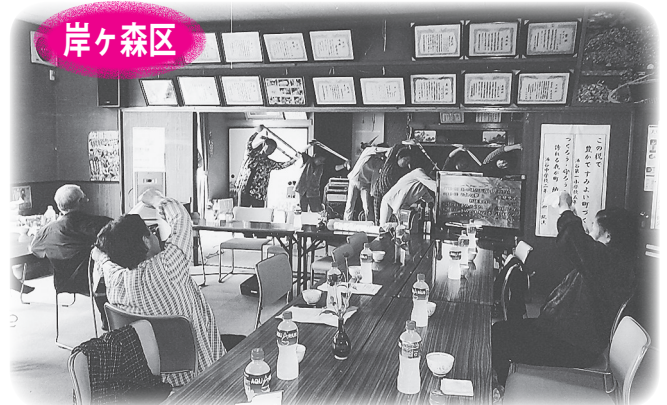
支えあおう



9月16日(土)

健康推進員、福祉推進員、老人クラブ共催で敬老お祝い会を開催しました。社協の職員、パワーアップリーダー研修生4名の方々にも参加していただきました。

まず、「ああ人生に涙あり」の曲で軽い体操からスタート、その後「里の秋」をオルガン伴奏で合唱。恒例となった手ぬぐい体操「北国の春」とリズム感のある「きよしのズンドコ節」を踊り、楽しみました。その後、得意のカラオケを披露してくれる人、踊りを披露してくれる人ととても盛り上がったお祝い会となりました。最後に皆で食卓を囲み、ホタテのお吸い物に美味しいお弁当をいただきました。デザートもありました。「地域のお祝い会は楽しいなあ」と喜んでもらった日でした、とても嬉しい日となりました。



岸ヶ森区



9の3区

「お琴ミニコンサート (第1回なごみ会)」

支えあおう



9月29日(金)

琴・三味線・尺八の演奏、琴の伴奏で参加者全員が歌集片手に大合唱と贅沢にもお茶を飲みながら、和楽器の生演奏にうっとりした1時間半でした。老人会の行事と重なってしまい「参加できず残念」という声も聞かれる中、たくさんの方に参加して頂き、めったに触れることのない雅な音色に皆さん満足されたようです。

「敬老祝い」

支えあおう



9月30日(土)、10月1日(日)

今年度も昨年と同様に敬老会は開催せず、75才以上のお宅を訪問してプレゼントをお届けしました。皆様にはたいへん喜んで頂きました。

プレゼントの内容はマドレーヌの詰め合わせで、夫婦の方は同じ物を2個ではなくマドレーヌとずんだまんじゅうにしました。

訪問の際は、出来るだけちょっとした会話をする様に心がけました。ある1人暮らしの方は「プレゼントを頂いた他に話ができて良かった」と言われ、会話も大事だなあと感じました。

2の2区



城山区

「城山大学、健康教室、 お茶っこ飲み会」

学びあおう



10月15日(日)

地域にお住まいの先生による塩分と高血圧のメカニズム、健康課の保健師さんの家庭での減塩などの話をさせていただきました。また、社協職員による認知症の予防と脳トレ運動を行いました。外出して世間を見、季節のうつり変わりを感じたり、集会に出席する事などで脳トレ、認知症予防になる事の話や変則指折り、歌に合わせて体を動かしました。

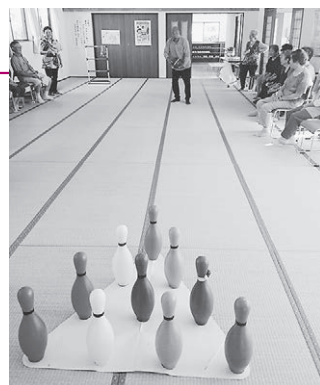
●「地域ふれあい物品」を貸し出します！●

今回紹介するのは、「カラーボウリング」です！

誰でも一度はプレーしたことのあるボウリングを、室内で手軽に行うことができる物品です。ピンは色とりどりに分かれているため、カラーによって得点を変えるなど、遊び方も工夫することができます。ぜひ地域の皆様で使用してみてください！

この他にも、様々な物品の貸し出しを行っています。ぜひ、ご活用ください。

イベント物品	はっぴ、紅白幕、行事用テント、発電機 など
レクリエーション物	カラーボウリング、お手玉、マインディスティックカーリング、ラダーゲッター、ディスコン、思い出カルタ2種、輪投げ、射的、スカットボール、ソフトジムボール、ゲームレール など



問合せ ☎43-6661
(担当：地域福祉課)

～わたしたちは、あなた「ゆう：You（利用者：家族：地域住民）」と共に、
あなたの生活「らいふ：Life（人生：生命：生涯）」を大切にします～

ゆうらいふ
社会福祉法人 蒲谷町社会福祉協議会

通 信

特別養護老人ホーム・グループホーム

「ゆうらいふ敬老会」

9月17日、特別養護老人ホームとグループホーム合同で「ゆうらいふ敬老会」を開催しました。ご家族にもお越しいただき、入居者の皆様も大変喜んでいました。



はじめに、高橋会長から最高齢の方へ表彰を行いました。式典後には、日本民謡香湧会による民謡ショーが行われ、心地よい歌声に酔いしれている様子でした。また、敬老をお祝いするため祝い膳を準備し、美味しく召し上がっていただきました。

デイサービス

「敬老会」



9月18日から20日まで敬老会を開催し、ボランティアの皆様のご協力のもと、琴やオカリナの演奏、華麗な踊りなどを日替わりで行っていただきました。

利用者の皆様からは、「音色に癒されだ!」「いつ見ても、優雅な踊りだっちゃんね!」など、長寿のお祝いを大変喜んでいただきました。

「介護職員初任者研修講座」

8月1日から9月29日まで、宮城県指定介護職員初任者研修講座を開講し、受講生8名が資格を取得しました。

「研修を終えて」

介護の仕事に就いて一年半ほどが経過してから、基本知識や技術を学ぶため初任者研修を受講しました。

はじめはとても緊張しましたが、受講した仲間たちとすぐに打ち解けることができました。

実習では、利用者の皆様が気さくに優しく話しかけてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。

本研修で学んだことや、一緒に学んだ仲間たちは、私の財産です。これからの仕事に生かし、頑張っていきたいと思います。

受講生 高橋正詞



地域活動支援センター

「みんなで外出、思い出づくり」



9月に「石ノ森章太郎ふるさと記念館」へ行き、思い出の漫画家の生涯に触れ、様々な銅像の前で記念写真を撮りました。10月には、涌谷公民館でグランドゴルフを体験しました。近くにいた町民の皆様、親切にご指導いただき、楽しい時間を満喫することができました。

簗岳地域ケアセンター

「簗岳白山小学校 学芸会見学」



10月18日、施設に隣接する簗岳白山小学校の「学芸会 児童公開（総練習）」に招待され、見学に行きました。

低学年の可愛らしい発表と、高学年の臨場感あふれる迫真の演技に魅了されました。さらに、校長先生自ら指揮をとる全学年合唱では「ふるさと」が披露され、児童の澄み渡った声が響き渡り、それを聞いて涙ぐむ利用者の方もおられました。

ホームヘルプサービス

「長寿の秘訣、たくさんあります！」

ゆうらいふホームヘルプサービスをご利用の浅野千代さんは、この度100歳を迎えるにあたり、内閣総理大臣と宮城県知事に表彰されました。

浅野さんに長寿の秘訣を尋ねてみると、「自分の体は自分にしかわからない。自己管理をしっかりやる」とのこと。脈拍や食事などの健康チェックももちろん、頭の運動も意識して行っているようです。さらに、毎日新聞を全ページ読み、裁縫や漢字の書き取りなども日課としているとのことでした。

現在はご家族と一緒に、笑顔あふれる楽しい生活を送られております。



ご紹介：浅野千代さん(猪岡区)
大正7年1月3日生まれ

涌谷町社会福祉協議会

平成30年4月採用正職員募集

受付期間…平成29年11月20日必着

【雇用形態】 正職員

【採用予定数】 1～2名

【業務内容】 介護保険業務、法人運営、地域福祉業務等、社協業務全般に従事

※配属部署により異なります。

【受験資格】

①社会福祉士又は、介護福祉士を有するもの（見込み含む）

②平成30年3月に大学、短期大学、専門学校2年制以上卒業見込み又は、平成27年3月以降に卒業したもの

③普通自動車免許を有するもの

【給与・待遇】 当会規程による

【受験手続】 ①履歴書、②資格証の写し（見込み等）、卒業見込み証等、③健康診断書

※郵送又は、持参の上、提出ください。

求人の詳細は、当会ホームページで掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

【提出・問合先】

〒987-0121

涌谷町涌谷字新下町浦192

涌谷町社会福祉協議会

☎43-6661（担当：高橋、山根）

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 宮城いきいき学園 平成30年4月学園生募集

宮城いきいき学園は、高齢者へ学習の場を提供し、生きがいと健康づくりの推進、地域社会の発展に寄与できる地域リーダーや「地域の支え合い」の一翼を担うことのできる人材の育成、地域貢献活動への参加を目的に開校しております。

学習やスポーツ、文化活動を通して仲間とふれあいを深め、明るく楽しい充実した学園生活をぜひご体験ください。

●申込概要

対象：県内居住の概ね60歳以上の方
場所：①仙南校 ②大崎校 ③石巻校
④気仙沼・本吉校 ⑤登米・栗原校
※通学可能な場所をお申し込みください。
人員：各校40名
日程：年間22日（2学年制）
入学金：5,000円
受講料：年間20,000円

- 募集期間は、平成30年2月28日(水)必着です。
- 受講に関する詳細は、下記まで問い合わせください。
社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 ☎022-225-8477 (担当：いきがい健康課)

『エプロンおばさんと 遊ぼう広場』

クリスマススペシャル!!

12月7日(木)
10:00~11:30

涌谷町高齢者福祉複合施設ゆうらいふ



対象者：未就学児と保護者
内容：ハンドベル・劇
ペーパークラフト 等
参加費無料&申込不要です。
問合先 ☎43-6661
(担当：地域福祉課)

心温まる善意 ありがとうございました。

(平成29年9月9日~平成29年11月8日まで)

寄付物品

●愛媛県松山市 黒田 孝子 様 書籍
●脇 区 伊藤 勝秋 様 新米

一人で悩んで いませんか? 生活相談所

介護が大変で...

毎日の生活が大変だけど、
どうしていいか...



収入が少なく
今後の生活が不安...

人間関係や職場環境
で悩みが...

開設月日	場所	
11月22日(水)	籠岳地域ケアセンター	相談室
12月27日(水)	ゆうらいふ	相談室
翌年1月24日(水)	籠岳地域ケアセンター	相談室
2月28日(水)	ゆうらいふ	相談室

開設時間 13:00~15:00

開設日以外にも相談をお受けします。お気軽にご連絡下さい。

問合先 ☎43-6661 (担当：地域福祉課)

編集後記

立冬をむかえ大根の収穫にあたり大忙し。
福祉わくや124号のお届けです。
福祉作文・福祉ポスター・福祉標語コンクール
入賞作品、おらほのふれあいレポの中では、さりげなく喜ぶ笑顔をみたくて、その笑顔が嬉しくて、誰かのために・・・。
優しくホッと心あたたまる笑顔は、心ひとつで
辺りをあたたく、幸せにする力であふれています。
あなたは今、ほほえんでいますか?

広報委員会

ボランティアグループ 「あけぼの会」

朗読テープの貸し出し

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。

問合先 ☎43-6661 (担当：地域福祉課)